

条件5 - 及び5 - による選定状況のまとめ(案)

回答に著しい偏りが無いこと(1つの選択しに回答が90%以上集中していないもの)

客観性が担保できない等認定調査項目として適切でないと考えられるものは除外(×)

	調査項目			の理由
11-3-1	物や人等に対する強いこだわり		×	加齢に起因する状態の質問ではないため不適
11-3-2	多動		×	加齢に起因する状態の質問ではないため不適
11-3-3	行動の停止	×		
11-3-5	自傷行為	×		
11-3-6	破壊行為	×		
11-3-9	環境変化で通常と違う声を出す		×	加齢に起因する状態の質問ではないため不適
11-3-15	一日中横になったり、自室に閉じこもる		×	意欲の問題であり、介護の要否に関係しない
11-3-16	話がまとまらず、会話にならない			
11-3-17	やりかけたことを途中で投げ出す		×	客観的な判断が難しい(主観的な要素に影響されやすい)
12-1	調理(献立を含む)	×		
12-2	食事の配膳・下膳(運ぶこと)	×		
12-3	掃除(整理整頓を含む)	×		
12-4	洗濯	×		
12-5	入浴の準備と後片付け	×		
12-6	買い物			
12-7	交通手段の利用	×		
13-1	簡単な調理	×		
13-2	手のこんだ調理	×		
13-3	衣服の洗濯と乾燥	×		
13-4	食事の後片付けと食器洗い	×		
13-5	掃除	×		
13-7	ごみ捨て		×	居住環境により回答が変わりうるため不適
13-8	寝具の準備及び片付け	×		
13-11	情報機器		×	使用する機器により回答が変わりうるため不適
14-2	安全の判断ができない		×	加齢に起因する状態の質問でないため不適
14-3	損得の判断ができない		×	加齢に起因する状態の質問でないため不適
14-4	役割が解らずに誤解で行動する		×	加齢に起因する状態の質問でないため不適
14-7	昼間から寝ていたり閉じこもる		×	意欲の問題であり、介護の要否に関係しない

	調査項目			の理由
14-8	唐突な話や行動		×	客観的な判断が難しい(主観的な要素に影響されやすい)
14-9	自分勝手に行動する			
14-10	感覚刺激に過敏に反応		×	疾病による影響と考えられるため不適
14-11	新しい環境等で情緒不安定になる			
14-12	いつもの手順変更を許さない		×	客観的な判断が難しい(主観的な要素に影響されやすい)
14-13	具体的な作業指示が必要			
14-14	比喩(たとえ話)を理解できない		×	客観的な判断が難しい(主観的な要素に影響されやすい)
14-15	気持ちの切り替えができない			
14-16	同時に二つのことをできない			
14-17	要求を断れず、人の言いなりになる			
14-19	一人になることを嫌がる	×		
14-20	気になることにひどく心配する			
14-21	戸締りを忘れる		×	地域、住居環境などにより回答が変わりうるため不適
14-23	知覚鈍磨(痛みを認識しない)	×		
14-24	気を引くためにトラブルを起こす	×		
14-25	意味もなく独り言や独り笑いをする			
14-26	集団への参加ができない		×	意欲の問題であり、介護の可否に関係しない
15-2	栄養バランスのある食事をする	×		
15-7	職を得るための活動をする	×		
15-8	いったん得た職を持続する	×		
15-10-1	作業場面で課題に合わせて行動する		×	授産施設利用を想定したもので不適
15-10-2	作業場面で手順に沿った用意をする		×	授産施設利用を想定したもので不適
16-2	補装具の状況	×		
16-3	ひとりでの外出	×		
16-8-5	訪問者 福祉サービス職員		×	居住環境(在宅、施設内等)により前提が異なる
16-9	日中の過ごし方		×	季節、曜日、環境等の条件により異なる
16-10	1年前の身体状態と比較した状態		×	客観的な判断が難しい(主観的な要素に影響されやすい)
17-1	指示された日時に通院出来る	×		
17-6	寝つきについて		×	客観的な判断が難しい(主観的な要素に影響されやすい)
17-8	昼寝		×	客観的な判断が難しい(主観的な要素に影響されやすい)
17-10	髭剃り		×	男性に限定した項目であり不適